

# 芽室町の交通の取り組み みなさん、いくつご存知でしょうか？

## 芽室町コミュニティバス「じゃがバス」

JA めむろのマスコットキャラクター「まちるだいすけ」のイラストでおなじみのじゃがバス。高校生以上は100円、小中学生は50円、小学生未満は無料で乗車できます。



ご存知ですか？

運行ルートと時刻表はこちら→



- 65歳以上の方で、免許を返納した方は1年間じゃがバスが無料（申請が必要です）
- 十勝バスーじゃがバス間で乗り継ぎするときは100円引き（小中学生は50円引き）になります。運転手さんに申し出てください！

## じゃがバスにはこんなご意見も

じゃがバスルートに新嵐山を加えてほしい。お風呂にも入って、お食事とお酒がいたきたい。



じゃがバスルートに白樺学園高校があれば、町民の志望校の一つにもっとなるのでは？



## 農村部タクシー運賃助成

農村地域に住所を有する75歳以上のおみなさん ※65～74歳でも、免許返納またはもともと持っていない方は利用可能

### 助成内容

- タクシー片道運賃の半額相当のチケットを配付します
  - チケットの枚数 1か月あたり4枚
- 申請が必要です。



## 臨時免許返納窓口の開設

帯広警察署と連携して、役場で臨時の免許返納窓口を開設しています。（今年度は6月、11月に実施しました。次回は、令和5年6月頃の予定です。

また、臨時窓口で免許を返納された方には、じゃがバスの無料券とタクシー運賃助成（農村部の方）のご案内をしています。



## 2019年8月号のすまいる特集「決断の時」

免許返納について取り上げ、多くのみなさんに考えていただく機会となったのではないのでしょうか。実はこの号は第66回北海道広報コンクールで特選を受賞しています。



## めむろコミ☆タク実証実験

コミタクとは、「コミュニティタクシー」の略語です。農村部のみなさんの対象地区と芽室町市街地を結ぶ、予約型乗合タクシーです。簡単に言うと「時刻表がある乗り合いタクシー」のようなもので、バスのように運行時刻が決まっています。乗り合いではありますが、タクシーなので停留所がなく、芽室町内であれば指定した場所から指定した場所を送迎してくれます。条件がある分、価格を抑えたタクシーと言えるのではないのでしょうか。

2月いっぱいまで対象の農村地区で実証実験を行っています。詳しくは次のページをご覧ください！

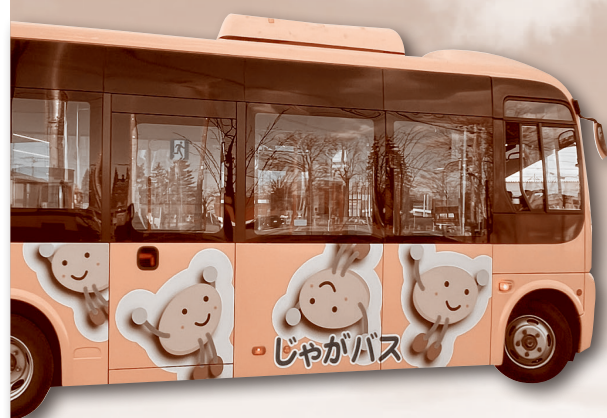
※めむろコミ☆タクは、国土交通省の令和4年度日本版 MaaS 推進・支援事業の採択を受けて実施しています。



## 特集

# このまちの

# 地域交通



「地域交通」から何を思い浮かべますか？ 「地域交通」というタイトルからどのようなことを思い浮かべるのでしょうか？「運転免許証を返納した後の話」と捉え、まさに自分事という方もいれば、「全然まだ」とどこか自分事ではない捉え方をされている方もいることと思います。

地域交通の取り組みとして真っ先に思い浮かぶのは「じゃがバスが市街地を巡回している」ということでしょうか？町では、じゃがバスだけではなく、地域交通の将来を考えていくため、様々な取り組みをしています。そして、その地域交通の対象者は冒頭の免許返納後の皆さんだけではなく、今月の特集では、そんな地域交通に対する町の現在の取り組みを知っていただき、一人でも多くの方に「自分事」と捉えてほしい！そんな思いで特集を組みました。

「地域交通」の位置づけ 芽室町総合計画の中で、地域交通に関連するキーワードを次のように明記しています。

地域交通にはメリットも 公共交通には自動車と比べると、次のようなメリットもあります。

- ・二酸化炭素排出量が少ない（バスは3分の1、電車は6分の1）
- ・健康増進につながる（バス停まで歩く機会が増える）
- ・交通事故に遭う、交通事故を起こすリスクも低い
- ・渋滞緩和につながる
- ・経済的（保険代やメンテナンス代がかからない。）

知ってほしい町の取り組み いよいよ、次ページからは町の取り組みをご紹介します。将来にわたり、地域交通を維持していくには、みんなが利用し、自分事として捉えていくことが大切です。

基本目標4 自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり  
政策4-2 快適な都市環境づくりの推進  
施策4-2-3 道路交通環境の整備  
快適な移動、利便性の向上を進める

安全で快適な生活を送ることができる



## 町の担当者に聞く！コミ☆タク、実はこんな使い方もあります

### ①乗り合わせができるので…

- ・昼間からお仲間同士でお酒を飲みまちなかへ！?
- ・通院や買い物だけではなく、趣味のための移動、ランチ会での移動など楽しみのためにも自由にご利用を！

### ②農村部から市街地だけじゃない！

- ・市街地から農村部に遊びに行くという使い方 OK！



政策推進課  
角屋 大貴主事

## こぼとハイヤーさんの声

「以前の実証実験の時に農業ヘルパーさんにご利用いただいて喜ばれました。その方は、コミタクを知るまでは市街地から農家さんまで毎日、自転車で通っていたそうです。農作業で疲れた体に自転車は堪えます。時刻に決まりはありませんが、ヘルパーさんみんなが自宅と農家さんの間を安心して通ってもらえるという使い方もあるのではないのでしょうか」



こぼとハイヤー株式会社  
近藤和浩専務

## ご存知ですか？ 上美生地区では…

今回の実証実験は、町内のタクシー事業者であるこぼとハイヤーさんに加えて、上美生地区にあるNPO 法人上美生の皆さんも事業者として参画しています。

上美生地区では、2014年に地域で「ほしぞらプラン会議」というものを行い、そこで課題となった「交通環境」に早くから取り組んでいます。夜の少年団の送迎、朝の高校生を芽室駅まで送迎、地区の老友会の皆さんの送迎などの実験に取り組み、2020年8月には「自家用有償旅客運送」を申請し、地域の皆さんがドライバーとして送迎を行える体制を整えるなど、地域一丸で取り組んでいます。

自家用有償旅客運送を地域で取得することは、専用の保険などがあったり、公的なお墨付きが得られるなどのメリットがあり「おとなりさんをちょっと送っていきたい。気持ちはあるけど、なにかあったらどうしよう？」という、地域の悩みの解決にもつながるヒントかもしれません。

町でも、こうした地域で自家用有償旅客運送の取得を目指す皆さんからのご相談もお待ちしています！



☎ 62・9721  
📍 2階6



だれもが通る道を今から考えよう！

いかがでしたでしょうか？ 少子高齢化社会を迎えたいま、高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けるためには、地域交通は切っても切れない大切な課題です。ですが、当事者にならないければ、自分事と捉えることはなかなか難しいということも現実です。そこで今回は、じゃがバスやコミ☆タクのように対象者を限定しない取り組みを中心にご紹介しました。すまいる8月号19ページでご紹介した「じゃがバスに乗って町内のいろいろな公園で遊ぶ」の記事や、今回ご紹介したコミタクも、「楽しむ」ための使い方もできます。

まずは乗って体験してみる。食卓の話題に挙げてみる。今回の特集がそのような行動のきっかけになれば幸いです。

担当課では、今後、農村地域を中心に地域交通についてアンケート調査も予定しています。ぜひ、ご協力をお願いします。

## めむろコミ☆タクに乗ってみよう！



めむろコミ☆タクは、現在実証実験を大きく3つの地域（①上美生、②新生・北伏古、③芽室太・関山・毛根）で実施しています。

地域を絞っていること以外は、利用できる方に制限はありません

### 1 実証実験の期間 11月1日(火)～令和5年2月28日(火)

### 2 実施地区と運行日程実施地区

①上美生地区				②新生・北伏古地区				③芽室太・関山・毛根地区			
運行日程				運行日程				運行日程			
期間中、毎日運行				月曜日・木曜日				火曜日・金曜日			
運賃				運賃				運賃			
片道 1,000円				片道 300円				片道 500円			
月額 15,000円				月額 3,000円				月額 5,000円			
上美生→市街地 (自家用有償)		市街地→上美生 (こぼとハイヤー)		②、③地区→市街地 (自家用有償)		市街地→②、③地区 (こぼとハイヤー)		②、③地区→市街地 (自家用有償)		市街地→②、③地区 (こぼとハイヤー)	
1便	8:45	2便	12:30	1便	8:45	2便	12:30	1便	8:45	2便	12:30
3便	10:45	4便	13:30	3便	10:45	4便	13:30	3便	10:45	4便	13:30
5便	13:15	6便	15:30	5便	13:15	6便	15:30	5便	13:15	6便	15:30
7便	15:15	8便	17:30	7便	15:15	8便	17:30	7便	15:15	8便	17:30

### 3 どうやって乗るの？

#### ①利用の前日までに予約

利用前日18時までに☎またはインターネットから

☎050-3155-1331（上美生） ☎050-3134-4532（それ以外の地区）

インターネット

<https://weborder2.dennokotsu.jp/form/memuro>



#### ②予約確認の電話が来ます

利用前日の18時以降にお迎え時間等の確認電話があります。

#### ③当日、順番にお迎え

- ・ご自宅が出発地点の場合は、ご自宅の中でお待ちください。運転手がインターホンでお呼びします。
- ・コミュニティタクシーのため、ほかのお客さんと乗り合いになる場合があります。
- ・Mカード（会員証）を必ずお持ちください。

#### ④乗車したら

- ・運転手にMカードをご提示ください。
- ・運賃を前払いします。（現金、Mカード、JA口座から支払方法を選べます！）



#### ⑤出発！

- ・往復でご利用の方は、なんとお買い物ができます！
- ・車内にあるメニュー表から、商品を注文することができます。



#### ⑥到着！

- ・行きで購入した商品は、帰り便の車内へ届きます。





## まちのうごき

## 芽室町名誉町民の荻 巖 さんがお亡くなりになりました



平成9年6月15日、名誉町民に推挙。  
昭和46年、芽室町議会議員に当選以来、24年間の永きにわたり在職され、うち10年4か月は芽室町議会議長として、芽室町議会の適正かつ公平な運営に御尽力されました。  
また、土地開発公社の理事をはじめ、平成7年までの24年間に多岐にわたる分野での公職に選任され、町政運営に多大なる貢献をいただきました。  
荻氏は、平成8年に勲五等瑞宝章も受章されています。

## 芽室町名誉町民とは

本町の行政及び産業経済の発展又は学術、芸術及び教育等文化の振興その他町民の福祉の増進に貢献し、その功績が卓越しており、深く町民から尊敬されている者で、審査委員会に諮り、議会の議決を経て決定して名誉町民となります。

(芽室町功績と栄誉を讀える条例より)

北上美生で酪農業を営み、体力が続く限りは牛舎に通い、庭木の手入れもされ、元気に過ごされていたそうです。

ご自身が三年間の戦争抑留で壮絶な思いをした経験から、お子さんやお孫さんには常々「戦争は誰も幸せにならない」と語り、現在の情勢も憂い、世界の平和を願ってらっしゃいました。

令和4年11月26日永眠。

ご冥福をお祈りいたします。

11月17日

上美生地域

## 地域を挙げて、上美生総合防災訓練



地域を挙げての上美生総合防災訓練が実施されました。

地域防災力の意識を向上させ、学校と

地域が丸となって避難所を運営することで、年代に応じた支援行動、役割を認識し、協働の意義の理解を深めることを目的に、地震を想定した避難行動、児童生徒による地域住民の避難行動支援、避難所設営等実施しました。

災害はいつ起きるかわかりません！日ごろから災害に対する準備を心がけましょう。

11月4日・5日

テーマは「ビート」

## めむろ地産地消バスツアー



毎年、予約開始とともにすぐにいっぱいになる地産地消バスツアー、今年もやはり大人気でした。

今回は「ビート」をテーマとし、ビート資料館→川合農場の圃場(坂の上)→KAMIBI(地産地消ランチ)→日本甜菜製糖株式会社芽室製糖所の行程で見学ツアーを実施しました。ツアーの中では日甜の歴史、砂糖の種類、ビートの栽培方法、十勝鉄道跡地見学など様々な角度からビートについての正しい知識を学ぶことができました。

ご協力いただいた日本甜菜製糖株式会社芽室製糖所様、川合農場様、めむろ歴史探訪会様、NPO法人KAMIBI様、2日間にわたりありがとうございました。

## 夢は誰もが知ってるプログラマー！

第1回 北海道スクラッチプログラミング大会  
審査員特別賞を受賞



芽室小学校6年生

小林 春仁さん

## プロフィール

教育支援センターゆうゆうにも通うやさしい笑顔のはるとさん。小学2年生からプログラミングをはじめ。

最近ハマっているゲームはスプラトゥーン3で、好きな食べ物もはカレー。お母さんが作るバターチキンカレーが世界一。

2年生のとき、お父さんの勧めでスクラッチプログラミングを知ったはるとさん。はじめは簡単なゲームを作るなどしていましたが、どんどのめり込み、5年を経過した今も、まったく飽きることなく、常に新しい技術を磨いているそう。

きっかけはお父さん

スクラッチプログラミングの世界的な広がりで、世界中のユーザーの作品やプログラムが公開されているので、これはすごいなと思う技術もすぐに見れるのが、いいところ。

またメッセージを送ってやり取りができるので、とても楽しいし、刺激になる。

先日は、日本語で作ったメッセージを翻訳アプリで英語にして、外国の人にメッセージを送ったそう。

スクラッチプログラミングの世界のおかげで、相手に合わせた言葉遣いや「クレジット(コピーライト)」の考え方も学ぶことができました。

どんなところが楽しい？

## そもそも！

## スクラッチプログラミングってなに？

Scratchは、世界最大の子ども向けコーディングコミュニティで、若者がデジタルな物語、ゲーム、アニメーションを作るために使っている、シンプルなビジュアルインターフェースを持ったコーディング言語です。Scratchは非営利団体 Scratch 財団によって設計、開発、維持されています。

パソコンとインターネット環境があれば、だれでも簡単にプログラミングの仕組みを学べる仕組みで、世界中の子どもたちがつながっています！



初開催の北海道大会で審査員特別賞！

通っているプログラミング教室の先生の勧めで、今回、初開催の北海道スクラッチプログラミング大会に応募。

見事、審査員特別賞に選ばれました。なんと、この特別賞は当初予定されていなかった賞で、多くの作品が平面的な2Dの作品である一方、はるとさんは立体的に見える3D技術を駆使して作っており、その高い技術に感服し、急きょ賞が作られたのだそう。

はるとさんの受賞作品は、大会の公式プロフィール動画にも選ばれ、ホームページのトップ画面に掲載されています！

将来の夢は？

はるとさんにとって立体的に表現するの、かを聞くと「3Dのものを平面上で表現するために回転行列を用い、2Dに変換しているよ。三次元だとx、y、zの座標があるけど、それをx、y座標だけで表すための変換作業が必要なんだ」とサラッとすごいことを教えてくれました。

「x、y座標といっても机上の勉強の世界」と思っていたものが、はるとさんにとっては作品を作るための身近な技術の一つになっており、生きた勉強ってこういうことなんだと痛感しました。

そんなはるとさんに将来の夢を聞くと「もっともっと発想力を磨いて、誰もが知っている有名なプログラマーになりたい！」と力強く答えられました。

きつとなれる！

はるとさんの未来が楽しみです。

スクラッチ上のはるとさん(kobajin)に会える→



はるとさんの大会受賞作品はこちら→



スクラッチプログラミングとは→

